

評価反省実施上の問題点(複数選択)

	小学校	中学校	高校
ア 適当な評価基準がない	48.9	42.1	34.7
イ 評価をするまでもなく課題が明らかである	5.1	4.5	1.1
ウ 評価を計画、実施、分析するための組織体制が整っていない	31.7	34.5	30.5
エ 評価のための時間がない	20.1	24.8	22.1
オ 評価されることへの反感が教職員に多い	2.9	2.5	7.4
カ 教職員の負担が大きい	7.0	13.6	5.3
キ 計画、実践、評価サイクルの意識が浸透していない	31.7	35.1	31.6
ク その他	7.0	10.8	5.4

「ア 評価基準」「ウ 評価のための組織体制」さらには「キ 教職員の意識」等、評価・反省に関する基本的な事項に関して小・中・高等学校とも30%以上の学校が問題点としてあげている。

外部のどの意見を重視するか(複数選択)

	小学校	中学校	高校
ア 児童生徒	41.2	55.8	44.2
イ 保護者	92.7	92.1	91.6
ウ 学校評議員	55.1	53.3	86.3
エ 地域住民	57.3	49.6	54.7
オ 教育委員会	16.5	12.6	12.6

小・中・高等学校ともに、「イ 保護者」が90%以上で圧倒的に多い。次に大きな割合を示しているのが、小学校では「エ 地域住民」、中学校では「ア 生徒」、高等学校では「ウ 学校評議員」となっている。

開かれた学校づくりのために評価・反省結果の公表は必要か(一つ選択)

	小学校	中学校	高校
ア 大いに必要である	12.7	12.8	16.2
イ 場合によっては必要である	85.5	84.4	81.8
ウ あまり必要ない	1.1	2.3	2.0
エ 必要ない	0.7	0.5	0.0

「イ 場合によっては必要」が、校種を問わず80%以上と多い。「ア 大いに必要」を合わせると、小・中・高等学校とも95%を超えている。

開かれた学校づくりの推進において重視すべきこと(自由記述)

	小学校	中学校	高校
学校を開く具体的内容・方法に関すること	23.5	15.5	29.5
管理職のリーダーシップと教職員の意識改革や資質の向上に関すること	14.1	22.0	21.7
学校からの情報発信と地域・家庭からの情報収集に関すること	34.1	46.0	18.9
学校・地域・保護者の連携と信頼関係に関すること	35.2	28.5	13.7
説明責任と適切な評価に関すること	17.6	3.5	4.2
日々の教育活動の充実に関すること	10.6	2.0	0.0

「学校を開く内容・方法」「管理職のリーダーシップと教職員の意識改革や資質の向上」「情報の発信と収集」「連携と信頼」に関する記述が多く見られた。小学校では「学校・家庭・地域の連携と信頼関係」、中学校では「情報の発信と収集」、高等学校では「学校を開く内容・方法」に関する記述が最も多かった。

よりよい教育活動の評価・反省実施のための要件(自由記述)

	小学校	中学校	高校
評価・反省の内容や方法及び結果への対応に関すること	46.9	54.2	47.6
管理職のリーダーシップと教職員の意識改革や資質の向上に関すること	23.0	32.7	34.5
地域との連携や評価・反省のための体制づくりに関すること	24.1	10.8	11.9
外部評価に関すること	6.0	2.3	6.0

「最も重要なもの」との質問であったが、複数回答や未記入があった。総記述数は小学校が535、中学校が260、高等学校が84であった。これら総記述数に対する割合である。

小・中・高等学校ともに「内容や方法、結果への対応」に関する記述が最も多く、次いで、小学校で